

■■コミケットの環境を正しく理解しよう■■

特に初参加の参加者さんに警告します。コミケット会場は環境的に非常に厳しい場所ですので、決して甘く見ないで下さい。

きちんとした用意や知識無く、徒手空拳で来場すると、どこに何があり、どこに行っているのかさえもわからずに散々寒い思い、暑い思いをしたあげく、入ごみに巻き込まれて体力を消耗し、下手をすれば倒れて救急車のお世話になるような目に遭ってしまうかもしれません。

■本当は恐ろしいコミケット会場？■

最近では各種メディアで『にぎやかで楽しげなおタクのお祭り』的な切り口で紹介されることも多いコミケット。そのせいかイベントやアミューズメントパーク感覚で気楽にふらりとやってきては会場で途方に暮れるというビギナーが後を絶たない。

そういう事態に陥らないように、正しい認識と知識を持って、きちんとした準備をしてから来場してほしい。冒頭の一文は決して大げさに誇張したものではないのだ。では、それぞれについて少し詳しく説明してみよう。

☹️コミケットは寒い！☹️

冬のだから気温そのものが低いのは当然なのだが、コミケットではその寒い中屋外で長時間待機（立っていたり座っていたり、あるいはゆっくり移動していたり）する状況が長く続く場合が多い。それこそ、早朝から入場待機列に並ぼうとすれば少なくとも2、3時間は、**風雨を遮る物もほとんど無い屋外で待機し続ける**ことになる。おまけに、会場であるビッグサイトは海辺にあるので、容赦なく冷たい風が吹き抜けていく。

しかも、会場に入ったからそれでももう寒さとはお別れかといえはさにあらず、アナタがいわゆる『大手』と呼ばれるサークルや、企業ブースでの買い物を目当てにしているのならば、いったん会場内に入った後、更に屋外に出直してそれらの待機列に並ばなくてはならない。

これを朝早くから疲れきる夕方までひたすら繰り返さずと思えば、『コミケットは寒い』というのも理解できるのではないだろうか。

特に人間、空腹だったり、疲労が蓄積してくると体温が**上がらず、余計寒く感じる**ものだ。しっかりした防寒着（特に長時間待機の場合はパンツやズボンの下にタイツ類や足首までであるアンダーウェアを穿いておく和良好的）、カイロなどの補助具、的確な飲食で対策を！

☹️コミケットは暑い！☹️

今寒いと言った数行後で何を、と思われるかもしれないがこれも嘘ではない。コミケットの会場であるビッグサイトは決して狭くはないが、それでも何十万人という参加者がひしめき合うホール内は場所によっては通勤電車のごとく混みあう。皆防寒着を着込んでいるので、どんどん重くなる荷物を担いで押し合いへしあいすると、あつという間に汗だくになってしまうことも珍しくない。

特に冬場は防寒着のせいで汗が抜けにくいので、少し動いただけでもかいた汗が篋り、それが下着や肌着に残ると体を冷やしやすくしてしまう。

さらに、往復のバスや電車などの交通機関車内も、暖房が効いていて混みあうと汗をかきやすくなるので注意が必要だ。特に朝は**車内で汗をかいたまま待機列に並ぶと一気に冷えて大変寒い思いをしかねない。**

